

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：深澤 淳志

事業名	一般国道433号 <small>かけとよひら</small> 加計豊平バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	広島県
起終点	自：広島県山県郡安芸太田町加計 至：広島県山県郡北広島町戸谷			延長	6.9km	
事業概要 一般国道433号は、広島県大竹市から広島県三次市に至る延長約133kmの幹線道路である。 加計豊平バイパスは、交通隘路の解消、交通の安全確保を目的とした、延長6.9kmの2車線道路である。 S61年度事業化 都市計画決定なし S61年度用地着手 H2年度工事着手						
全体事業費	約129億円	事業進捗率	69%	供用済延長	4.0km	
計画交通量	1,300台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.1 (残事業) 2.5	総費用 (残事業)/(事業全体) 37/181億円 事業費：34/170億円 維持管理費：3.3/11億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 91/194億円 走行時間短縮便益：86/186億円 走行費用減少便益：4.3/6.8億円 交通事故減少便益：0.56/0.63億円	基準年 平成20年		
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=2.7(交通量+10%) B/C=2.2(交通量-10%) 事業量変動：B/C=2.3(事業費+10%) B/C=2.7(事業費-10%)						
事業の効果等 ・国土・地域ネットワークの構築（現道における大型車のすれ違い困難区間を解消する） ・災害への備え（現道の事前通行規制区間の解消）						
						他3項目に該当
関係する地方公共団体等の意見 安芸太田町、北広島町をはじめとする関係5市2町で構成される大竹・三次間国道433号改良促進期成同盟会において、早期整備を要望されている。また、安芸太田町、北広島町の各町の合併建設計画においても主要事業に位置づけられており、早期整備が望まれている。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成16年10月に旧加計町が周辺の1町1村と合併し、安芸太田町を新設。平成17年2月に旧千代田町が周辺の3町と合併し、北広島町を新設。						
事業の進捗状況、残事業の内容等 安芸太田町内のL=4.4kmについては供用済。残る北広島町内のL=2.9kmについても、用地買収は完了しており、起点側の現道拡幅区間の工事を進めている。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 北広島町内の現道拡幅区間の改良工事を推進し、事業効果の早期発現に努める。						
施設の構造や工法の変更等 建設発生土は工区内で流用するなどし、コスト縮減を図っている。						
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものです。